PSQM-02-A 様式4

製品機能（ソフトウェアの機能を記述する）①			更新内容			書式名 ＜機能品質特性対応表＞			システム名				機能が満たすソフトウェア品質特性との対応を記述する ○:申請者が想定する記載している機能の品質特性 △:評価機関が想定する品質特性							
						重要機能		他機能	試験文書名＿機能単位			評価機能	品質特性							
大項目	中項目	小項目	新規追加	修正・変更	削除	製品説明	利用者用文書	他製品との連携で実現する機能	試験計画	試験説明	試験結果（サマリー）	◎:現物確認（試験文書内容確認） ○:文書確認（試験文書存在確認）	機能適合性	性能効率性	互換性	使用性	信頼性	セキュリティ	保守性	移植性
機能項目							評価対象（評価機関記入）②													
非機能項目	全体	システム全体							負荷試験計画書.xlsx	同左	負荷試験結果報告書.docx						○			
		サブシステムA							脆弱性試験計画書.doc	脆弱性試験実施手順書.	脆弱性試験結果報告書.pdf							○		
		アプリケーションA							性能試験計画書.ppt	同左	性能試験結果報告書.xls			○						
									UI試験計画書.ppt		UI試験実施結果報告書.ppt									

①-1：機能項目
ソフトの機能（仕様書）から、マニュアルの単位で機能を記載する。
大項目・中項目の記載は任意とする。
小項目は試験文書と対にできる機能単位とする。

マニュアル同等の粒度で、機能単位を仕様書から記載することで試験文書との粒度（結合テスト以降）を合わせる。

①-2：非機能項目
機能単位外の項目（システム、アプリ単位）でカタログやマニュアルに記載のある事項を記述する。（機能によらない試験項目が対象となる）

※

※更新時利用該当機能に○を記入

②1） ①の機能で製品説明に記載のある機能に○を記入する。
製品説明の中で「重点的に説明」している機能に◎を記入する。
②2） ①の機能で利用者用文書に記載のある機能に該当箇所（ページ数、ヘルプ）を記載する。
②3） 自社製品の機能として製品説明/利用者用文書に記載のある他社機能がある場合は○を記入する。

②4） 評価機関が以下の観点から評価対象となる機能に○を記入する。
・プロダクト性質上、評価する必要のある機能を選定

③ ①の機能に該当する各試験文書の該当する識別子（該当ファイル_該当項目まで）を記載する。
繰り返し開発を継続しているソフトでは、申請バージョンで該当する試験文書を記入する。
既存機能（変更のない）については回帰試験の試験文書を記入する。
試験文書の記載レベルは結合テスト以降とする。

④ 申請者が機能に影響する品質特性について○を記入する。

⑤ 評価機関が、プロダクト性質を踏まえ、評価に必要となる品質特性について△を記入。